

奥村組西川口寮 完成

国土交通省「令和5年度優良木造建築物等整備推進事業」採択

奥村組が埼玉県川口市で建設を進めていた社員寮「西川口寮」が完成した。ESG・SDGsへの取り組みの一環として、木造RCコアのハイブリッド構造とした。208平方メートルの木材を使用した。柱・梁部材には燃え代層として埼玉県産の西川材を使った木質耐火部材、耐震壁にはCLT(直交集成材)を採用。1・2階間に免震層を有する中間階免震構造として安全性を高めている。60室の寮室内も最大限木質化し、良質な住空間を提供する。同社は、今回の設計・施工で得られた知見やノウハウを生かして建築物の木造化・木質化を推進し、カーボンニュートラル(CN)の実現を目指す。

木造ハイブリッド構造・中間階免震の社員寮



エントランス



食堂



高品質・安全性を確保 木のぬくもりを感じられる内装

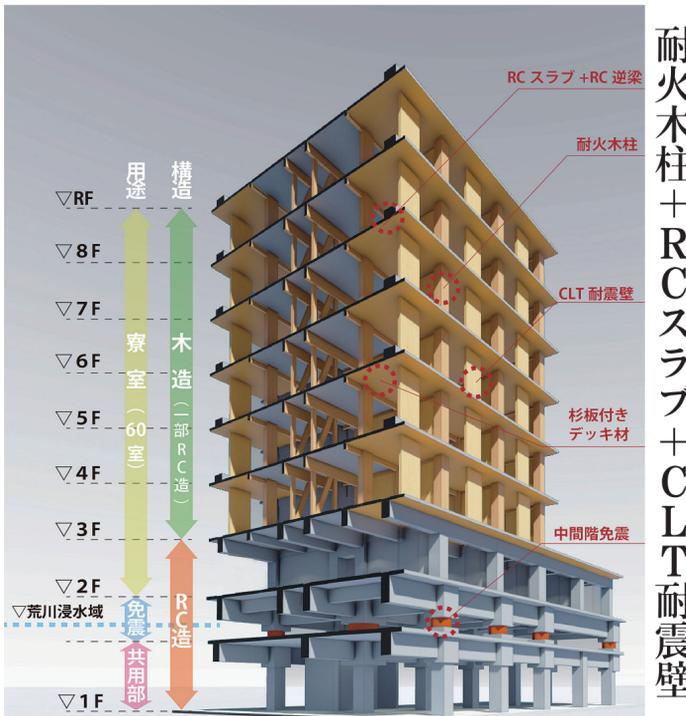
最大限、木を内装に活用することです。木造の耐火建築物では耐火被覆材が用いられていないので、木が見えなくなってしまう。利用する人に木のぬくもりを感じてほしいから、柱・梁には、仕上げ面に燃え代層として数層の西川材を用いた当社の木質耐火部材「SHIELD WOOD」を採用しました。また、耐火被覆材が不要なアレスにCLT直交集成材を使用しており、ガラスを通して外からも木構造が感じられます。CLTをアレス材とするのは前例がなく、当社独自の接合金具を開発し、構造実験で耐力を確認しました。特許も取得し、お客様に自信を持って勧められる裏付けをえています。

木質化において工夫した点があります。寮室内の木質化では、天井に杉板付きデッキ材



奥村組 東日本支社建築設計部 主任 佐藤 太輝氏

インタビュー



材をあらわして使用している。工期・コストの削減につながっています。1階はRCですが、食堂やエントランスの天井も木質化したほか、杉板型枠を使った美しい木目のコンクリート柱で質感を表現しています。

建物をご利用していただくと、木のぬくもりを感じられる内装が実現します。木のぬくもりを感じてほしいから、柱・梁には、仕上げ面に燃え代層として数層の西川材を用いた当社の木質耐火部材「SHIELD WOOD」を採用しました。また、耐火被覆材が不要なアレスにCLT直交集成材を使用しており、ガラスを通して外からも木構造が感じられます。CLTをアレス材とするのは前例がなく、当社独自の接合金具を開発し、構造実験で耐力を確認しました。特許も取得し、お客様に自信を持って勧められる裏付けをえています。



寮室



杉293本分の炭素を固定 カーボンニュートラルに貢献

- 建物概要**
- 物件名称: 奥村組西川口寮
 - 所在地: 埼玉県川口市
 - 敷地面積: 854.00㎡
 - 延床面積: 1,793.61㎡
 - 階数: 地上3階建て
 - 構造: 【1階～3階床】RC造【3階柱～8階】木造一部RC造 中間階免震構造
 - 設計: 株式会社奥村組東日本支社一級建築士事務所 木造部構造設計協力: 株式会社シェルター 技術設計協力: 腰越耕太建築設計事務所
 - 施工: 株式会社奥村組東日本支社
 - 工期: 2023年11月～2025年2月
- 建物写真撮影/志摩大輔
図版・施工写真提供/株式会社奥村組

建設が、好きだ。奥村組

株式会社 奥村組 本社
〒545-8555 大阪府大阪市阿倍野区松崎町 2-2-2
TEL: 06-6621-1101



奥村組ウェブサイトはこちら